

ユダの裏切り

ルカ22章1-6節

2014、8、10 HKJCF

1

概観

序)①再臨と終末の説教 ②ユダの裏切り

1、過ぎ越しの祭り十字架

2、ユダの裏切り(1)

3、ユダの裏切り(2)

4、ユダの裏切り(3)

祈り)神様の選びは確か しかし 自分の基準を明け渡し、疑いを告白し、聖書を真実とすることが不可欠「主よ、疑う私を受けとめてくださるあなたの愛を感謝します 私が主に献身し、疑いと恐れを明け渡すことができるように聖霊を満たして下さい」

2

I 過ぎ越しの祭り十字架

1、過ぎ越しの祭り 出12:21-28
子羊の血による身代わりの救い

2、エルサレムの情勢

①宗教指導者たちの反発

②国会議員たちの心配

③群衆の期待

⇒祭りの後の殺害の陰謀・ユダの裏切り

神様の摂理の内、主は過ぎ越しの子羊として十字架へ ヨハネ1:29

3

II ユダの裏切り(1)

1、聖書の解釈

①金銭欲 ヨハネ12:6 使徒1:15-22

②サタンの働き ルカ4:13, 22:3

③メシア像(地上的・人間愛・律法的)

2、ユダの理想主義と挫折

①理想主義と挫折 ユダ⇔パウロ

②極端な反動 使徒1:18-19

③賠償請求?安全保障?1デナリの人?

4

III ユダの裏切り(2)

1、理想主義の挫折とペテロ

①十字架とつまづき マタイ16:21-23

②人の目とつまづき ルカ22:55-62

③人との比較とつまづき ヨハネ21:20-22

⇒理想主義の挫折とサタン ルカ11:24-26

2、ユダの唯一の問題はイエス様に自分の気持ちをぶつけることがなかったこと

⇒信仰とは疑わないことではなく疑いを主に告白し、真に主と出会うこと

疑いや弱さがイエス様との出会いの契機となり主の受容の愛を経験する

5

III ユダの裏切り(3)

1、サタンの働く契機

①心の傷(赦しの問題を放っておくと)

②闇(真の交わりを避けていると)

③欲(むさぼりが罪の根源)

2、聖霊の働く契機

①告白 Iヨハネ1:5-10

②献身/集中 ヤコブ1:5-8

③真実(ありのままを主へ) 詩73:21-23

ダビデ・エレミヤ・ペテロ・トマス・パウロ 6